・被保険者の注意事項

- ① 欄の被保険者証の記号・番号は、保険証に記載されています。
- ⑤ 欄の㊸は 本人が記入できない場合は捺印が必要
- ⑦ 欄は、労務不能期間を記入 ※医師の意見欄と同様にしてください
- ⑧ 欄は、第三者によるものか回答 ※はいの場合、別に「第三者行為による傷病届」が必要になります。
- ⑨ 欄は、傷病名を記入 ※医師の意見欄と同様にしてください
- ⑩ 欄は、いつ(〇〇年〇〇月〇〇日午前〇時)、どこで(自宅の庭で)、なにを(薪を)、どうしているうちに(割っているうちに)、なにが(薪の)、どういうふうになって(破片が飛んで)、どこを(顔を)、どうした(負傷した)というように詳しく記載して下さい。
- ⑪ 欄は、同一の疾病又は負傷および、これによって発した疾病により、障害年金、障害手当金を受けているか回答 はいの場合は、年金の種類、年金額、支給事由となった傷病名、支給開始年月日を記入の上、障害年金該当者は障害年金証書の写、支給開始並びに直近の額を証する書類を、又、障害手当金の該当者はその支給額を証する書類を添付して下さい。
- ⑬ 欄は、資格喪失者及び任意継続被保険者の方のみ記入 年金について記入して下さい。
- ⑭ 欄は、在職者の場合こちらに記入してください。(在職者の方の給付金は、事業所への委任払いになります)
- ⑮ 欄は、任意継続被保険者・喪失者の場合、こちらに希望する振込機関名を記入してください。
但し、喪失後あっても請求期間に在職時を含む場合は⑭受取代理人の欄への記入が必要です。

・事業主の注意事項

- ⑰ 欄の「全部支給」または「一部支給」とは、一日当たりの賃金の全部または一部の意味であること。
- ⑰ 欄の㊸と㊹にわたるときは、両欄にそれぞれの事柄を記載すること。
- ⑰ 欄の㊹の欄は、「現在までにも、また将来も支給しない」と記載して下さい。
- ⑱ 欄は、被保険者の資格を喪失した後の期間にかかる請求であるときは、事業主の証明を要しません。

・医師の注意事項

- ㉒ 欄は、初診日を記載するのではなく、その傷病について健康保険による療養を始めた日を記載すること。
- ㉓ 欄は、なるべく詳しく記載して下さい。

・その他共通する注意事項

- 訂正したところは、各記載者の氏名のわきに押した印と同じ印(①から⑮までの訂正箇所には⑤又は⑭の印、⑯から⑱までの訂正箇所には⑱の印、㉑から㉒までの訂正箇所には㉒の印)を訂正印として押して下さい。
- 印はハッキリと押し、印もれのないようにして下さい。